

◆担い手育成事業

活力ある漁村づくりモデル育成事業への取り組み

八重山農林水産振興センター 中村勇次

1. 目的

小浜島の漁業者グループより、水産庁の補助事業である活力ある漁村づくりモデル育成事業を活用して地域の活性化に繋がりたいとの協力依頼があった。同事業は、過疎地域の活性化の取り組みに対し、定額で上限300万円の助成事業である。これに対して小浜島細崎漁港周辺で同事業の趣旨に賛同する人で構成する「細崎ま〜る新鮮隊」を結成し、衛生的な鮮魚解体所の設置、直売所の設置、体験漁業・ブルーツーリズムへの取り組み、学校給食への食材提供、視察研修等を行うため同事業を利用して実施することにした。

2. 材料及び方法

同事業を実施するにあたり、細崎ま〜る新鮮隊、八重山漁協、竹富町役場、小浜公民館及び八重山農林水産振興センターで地域戦略協議会を立ち上げ、事業実施に向けて役割分担してから事業を進めていくことにした。

3. 結果及び考察

活力ある漁村作りモデル育成事業に応募するため、平成21年3月から細崎ま〜る新鮮隊と協議を重ね、4月に同事業に申請した。結果、同事業へは採択されなかったが、二次募集があり、締め切りが9月初旬となっていたことから、再度事業内容を見直して再申請した。

その結果、10月に内定通知があり、11月に正式な事業採択通知があった。それを受けて地元説明会や地域戦略協議会を開催した。12月3日から5日にかけて沖縄本島先進地視察を実施した。その後、水産物加工品の試作や県外での活力ある漁村づくりモデル育成事業リーダー

研修会へ参加した。3月15日の事業終了までに、備品取得、加工品開発などの各種事業を実施した。

4. 今後の課題

細崎ま〜る新鮮隊の最終目標は、小浜細崎ふれあい市場を作ることであり、それに向けたノウハウの蓄積や加工商品の開発等を同事業で計画している。

今回は2次募集による事業採択であったことから、3月の事業終了までに時間がなくメニューをこなすのがやっとであった。取得した備品や開発した特産品は、4月以降に活用して営利活動を拡大していく予定である。

また、同事業は平成22年度にも予算化されていることから、引き続き同事業を利用して小浜の地域活性化を図っていく必要がある。



①小浜公民館で開催された地元説明会。



②県外で実施された同事業リーダー研修会



④沖縄本島先進地視察の様子

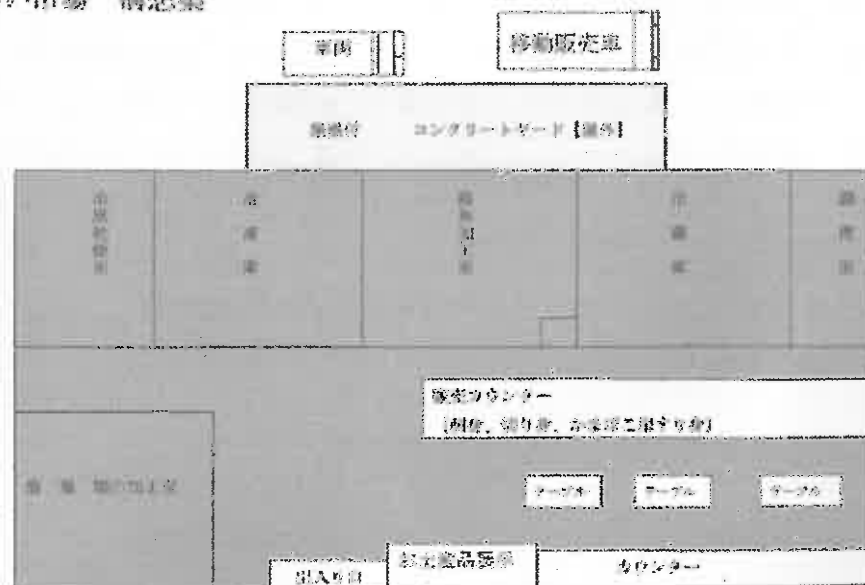


③水産物加工品開発の様子



⑤八重山漁協会議室で開催された地域戦略協議会の様子

細崎ふれあい市場 構想案



目的・・・施策効果

- ・関係の販売拡大（地元リポート・個人へ(協賛)）
- ・観光客向けの食事コーナー（刺身・魚汁・てんぷら・ソフトドリンク・軽食など）
- ・もずく・アーサー・カーナ・ソーナ等の加工販売
- ・雇用確保（若者の働く場）
- ・地域と漁村の交流